

# 令和3年度 第3回 学校運営協議会 議事録

開催日：令和4年2月25日（金） 書面開催

## 【出席者】

### <委員>

- 寺本 毅（守口市立八雲中学校長）【会長】
- 竹内 章（大阪成蹊大学スポーツ&カルチャーセンター長）【副会長】
- 栗本 太郎（白鳩チルドレンセンター八雲中 園長）
- 竹下 友梨（株式会社ベネッセコーポレーション大阪支社）
- 竹中 美和（本校 PTA 会長）

## 【議事】

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催とし、意見聴取についてはメールまたは文書にて行った。

1. 令和3年度学校経営計画及び学校評価（案）及び令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）の資料を配付。

・令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）の「めざす学校像」および「中期的目標」について、出席の5名全員から「どちらとも賛同できる」として承認していただいた。

2. 協議

○令和3年度学校経営計画及び学校評価（案）及び令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）の各項目について、意見等をいただいた。

・R4：めざす学校像の5で扱っている「全ての生徒が他者理解や思いやりの心を持つ」というのが、まさにポストコロナ・ウイズコロナの社会で求められていることだと思う。これがめざす学校像に書かれていることは素晴らしい。基礎学力の確立を通して「夢や希望をもって新しい社会を切り開く」ことができるように指導願いたい。

・R3：中期的目標の1（1）学力の向上について、多くの学校では学年を追うごとに下降傾向になることをよく聞かすが、貴校では向上しているという点が素晴らしい。保護者、地域、中学生に、特色の一つとしてアピールできる。

・R3・4：遅刻者数について、大遅刻と小遅刻の定義の記載が詳細に加わったことで、とても分かりやすくなった。小遅刻という守口東独自の回数を指導に合算しているために、遅刻者数が多く見えてしまうという説明があったが、それが明確にわかるようになった。

・遅刻をなくす・減らすことは学校の永遠のテーマだが、これが0名になることはまずないと思う。遅刻をしてでも登校していることを評価することが大切だと思う。

・R4：授業におけるICTの効果的な活用の推進を是非とも成し遂げていただきたい。現在の青少年は我々が経験したことのないICT環境の中に生きている。教職員の尺度でなく高校生の尺度でいろいろなことが企画されていければと思う。高校生でもICTに詳しい者がいるため、生徒と教職員が集まる企画委員会のようなものを開催してはどうか。

・R3：多くの項目で状況が好転しており、コロナ禍の困難が多い状況の中で、先生方をはじめとし、学校全体でより良い学校に向けて取り組まれていると感じた。

3. 議決事項

・令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）の「めざす学校像」および「中期的目標」について、承認された。